2013年　東北バイオ教育プロジェクト　参加校　募集要領

～高校生が主体となって進めるバイオ研究を支援～

１．事業の概要

　(1) 主旨

この度、バイオ医薬のリードカンパニーである協和発酵キリン株式会社は、バイオ教育のリバネスとともに、東北地域の高校において、今後のバイオ産業を担う次世代を育成する「東北バイオ教育プロジェクト」をスタートします。このプロジェクトは教育面からの復興支援として実施致します。

プロジェクトの目的は、子どもたちが自らテーマを決めて取り組み、調べ、考え、答えを導きだしていく研究の過程の中で、バイオ研究の意義と面白さを知るだけに留まらず、子どもたちが東北の未来に新しい視点での希望や夢・目標を抱けるきっかけづくりを行うことです。

　(2) 概要

このプロジェクトでは、高校生が主体となって進める生物に関する研究を分子生物学的見地から取り組む活動をサポートします。一過性の体験授業や研究者招聘講座の実施とは異なり、将来に渡り産業や研究を担う人材を輩出するためのプラットフォームを作ります。

研究課題を設置し、それを自らひも解いていく体験を通して、幅広い知識と論理的思考能力、課題解決能力を身につけ、東北の発展に貢献できるような人材に育っていくことを目指し、このプロジェクトに参加する高等学校を、岩手県・宮城県・福島県の3県から3校募集します。

また、バイオに関する先端的研究を東北の高校が中心となって進めるためのコンソーシアムをつくります。各学校は、研究に必要な協力者として、大学または研究機関の研究者を迎え、協和発酵キリン株式会社の支援を受けながら、継続的に研究を行っていくことを想定します。研究成果は、発表会等において発表していきます。

参加を希望する高校には、取り組みたい理由や、それにかける想いなどを記載した参加申請書を提出していただきます。協和発酵キリン株式会社および株式会社リバネスで組織するプロジェクト実施委員会は、その内容を確認し、連携・支援の指定校を決定します。5月より、指定校の教員と連携し、高校生との研究を開始します。

プロジェクト実施期間：2013年5月10日～2014年3月

スケジュールは下記の通りです。

2013年4月1日～4月30日　募集受付

2013年5月10日　参加校の決定および発表

2013年5月10日～6月30日 各学校打ち合わせ

2013年7月1日～8月31日　第１回実験教室の実施

2013年9月1日～10月31日　第2回実験教室の実施

2013年6月1日～2014年3月　研究期間

2014年3月　研究発表会（予定）

２．応募の要件

・岩手県、宮城県、福島県のいずれかに所在する高等学校、高等専門学校であること

・高校生が自発的にバイオ研究を進めるにあたり、積極的にサポートできること

・プロジェクト終了後も、継続して研究を実施する体制を構築できること。

研究テーマについては、バイオ分野にかかわる内容を、次の１）、もしくは、２）を選択し、ご申請ください。

1. 2012年の採択校と同じ、または、類似のテーマ
2. 新規のテーマ（バイオ分野に限定）

【参考】2012年の採択校、および、研究テーマ

岩手県立高田高等学校「津波被災土壌および海水からの新規バイオ燃料生産藻の探索」

宮城県水産高等学校「魚醤の高温発酵過程における微生物叢遷移の解析」

福島県立新地高等学校「環境制御型農業における育成培地の研究」

なお、こちらの研究についての詳細は東北バイオ教育プロジェクトホームページ（<http://www.kyouikuouen.com/kyowa-kirin-boshu.html>）をご参照ください。

３．サポート内容および範囲

　　研究の推進にあたり、必要な機材や物品の支援を行います。支援の上限は、150万円程度を想定しております。また、研究を進めるにあたって研究計画・実験計画の立案や設備導入のサポート、専門家との連携、専門家による実験教室を実施します。

４．申請の手続き及び日程

　(1) 申請様式

　①　申請書類は、理解しやすいように、簡潔に記載して下さい。

②　申請書類は、全てＡ４サイズ（縦向き）とし、様式を崩さず1ページに1枚（割付なし）、通しページを中央下に必ず打ち、左上をダブルクリップでとめて下さい。ステープラー（ホッチキス）止めや製本は行わないで下さい。

③　申請書類は日本語で作成して下さい。

　(2) 提出書類

　　参加申請書（正本１部（片面印刷）、副本（写し）10部（両面印刷））に必要事項を記載、学校長の捺印を行った上で（5）に記載されている住所までご送付ください。

※　なお、書類に不備等がある場合は審査対象とならないことがありますので、申請書様式に従って記入して下さい。様式に記載された項目の変更はしないで下さい。また、審査を行う上で、追加資料の提出をお願いする場合があります。

※　提出された申請書類、添付資料等は返却されません。これら申請書類は、審査の目的のみに使用し、すべての内容の機密を保持します。

　(3) 申請に関する注意

①　応募に関しては、原則１校１件とします。

②　同一の課題又は内容で、既に国等の公的助成制度による助成を受けている場合、又は採択が決定している場合は、審査の対象から除外され、採択の決定が取り消されることがあります。

　(4) 受付期間

2013年4月1日(月) ～ 2013年4月30日（火) (必着)

ＦＡＸ、メールによる提出は受け付けておりません。

　(5) インターネットの利用

　　公募要領、参加申請書等は下記ホームページにも掲載しておりますのでご利用下さい。

ホームページアドレス　<http://www.kyouikuouen.com/kyowa-kirin-boshu.html>

また、事前のお問い合わせや相談は受け付けておりますので、下記までご連絡ください。

　　＜東北バイオ教育プロジェクト　プロジェクト実施委員会　事務局＞

　　〒160-0004　東京都新宿区四谷2-11-6 VARCA四谷10階　株式会社リバネス内

　　Tel：03-6277-8041 FAX：03-6277-8042

E-mail: info@leaveanest.com

担当：熊谷

※E-mailでのお問い合わせの場合、必ず件名に【東北バイオ教育プロジェクト】と
ご記載ください。

５．審査について

協和発酵キリン株式会社および株式会社リバネスが組織するプロジェクト実施委員会は、参加申請書に記載された内容を審査し、適切と考えられる申請者をプロジェクト参加校として指定します。審査は、以下の観点から実施します。

・高校生が進める研究に熱意と想いを持っていること。

・成果の公表に積極的であること

・プロジェクト終了後も、継続して研究を実施する体制を構築できること。

東北バイオ教育プロジェクト　プロジェクト実施委員会

事務局　株式会社リバネス

メンバー：

協和発酵キリン株式会社　執行役員 コーポレートコミュニケーション部長　諸富　滋（◎）

協和発酵キリン株式会社　コーポレートコミュニケーション部　都丸淳之

株式会社リバネス　専務取締役　佐野卓郎

株式会社リバネス　執行役員　教育開発担当　松原尚子

株式会社リバネス　地域開発事業部　部長　塚田周平

株式会社リバネス　地域開発事業部　熊谷諭

※◎・・・委員長

平成 年 月 日

東北バイオ教育プロジェクト　プロジェクト実施委員会　委員長 殿

申請者住所　（本社所在地・郵便番号）

学　校　名：

代　表　者　　　　 　　印

平成24年東北バイオ教育プロジェクト　参加申請書

　東北バイオ教育プロジェクトに係る参加申請書を、下記のとおり提出します。

記

１．研究のテーマ名

２．主たる連絡窓口

　　※担当する教員の氏名、日中連絡の電話番号、FAX番号、E-mailアドレスをご記載ください。

**参　加　申　請　書**

１．研究テーマ名

|  |
| --- |
| 研究タイトル |
| 所在する県 | 研究対象 |

２．研究テーマの概要

|  |  |
| --- | --- |
| 募集要項に従い、研究テーマの種別を「１）2012採択校と同じ、または類似」「２）新規」の中から選択し、右へご記入ください。 |  |
| ※設定するテーマの背景をご記載ください。過去の取組があれば、併せてご記載ください。 |

２．研究内容

|  |
| --- |
| ※800～1000字程度でご記載ください。図版等の使用は自由です。 |

３．本プロジェクトに係る校内体制：

|  |
| --- |
| ※本プロジェクトを遂行するにあたり、受け入れ体制や関わる教員名をご記載ください。※参加する生徒の見込みがあれば、それを記載してください。 |

４．必要物品・機材（対象期間）

|  |
| --- |
| ※研究を推進するにあたり、必要な機材や物品の品目、数量などをご記載ください。 |

5．研究の継続体制

|  |
| --- |
| ※プロジェクト期間終了後、継続して研究を進める体制についてご記載ください。※特に、生徒の進級や進学、教員の転勤などに会わせて、どのような体制で研究を引き継いでいくのか、想定される流れを記載してください。 |

６．本プロジェクトに参加する必要性、想い

|  |
| --- |
| ※参加しようと考えた理由や、想いなどをご記載ください。字数に制限はありません。 |

７．その他

|  |
| --- |
| ※特にアピールしたいことについて、簡潔に記入して下さい。 |